

鍛冶屋の仕事

鍛冶屋にした理由と左行秀

上町では、昔鍛冶屋が多くてその理由を調べたくなったから、鍛冶屋を選びました。

鍛冶屋が多かった理由

鍛冶屋は刀を冷やすためにたくさんの水がいります。ところが上町には、お殿様や侍などが使うための鏡川からくんできた用水路があるので鍛冶屋が多くなったと思います。もう一つ鍛冶屋の中でも刀鍛冶が多い理由は上町には町人やひゃくしょうだけでなく侍も住んでいたのだから刀を多く必要とする侍がいたからだだと思います。

龍馬の刀を作った左行秀



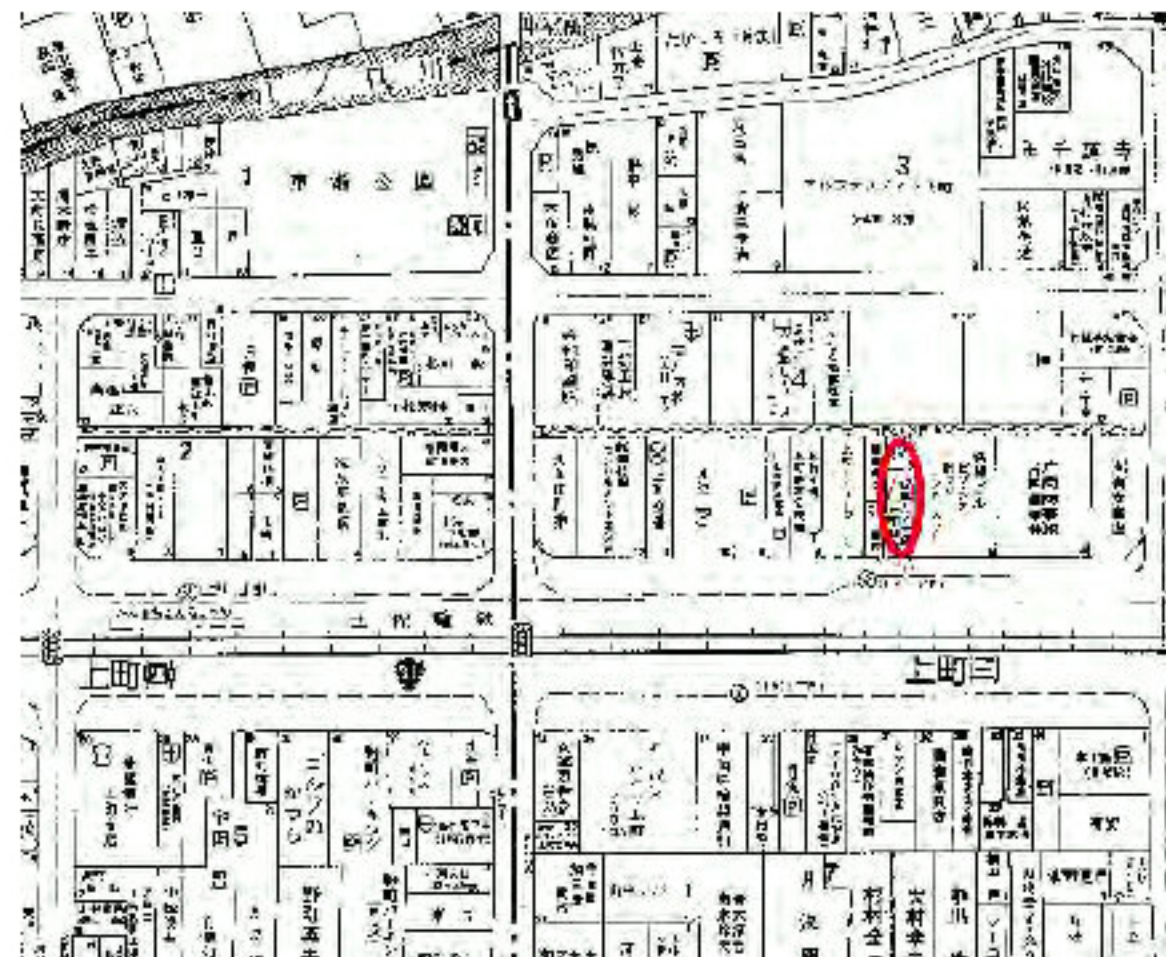
左行秀は、昔上町に住んでいる鍛冶屋だし、龍馬の刀を作った人だから左行秀を紹介します。

左行秀の本名は豊永久兵衛です。行秀は龍馬だけでなく龍馬の兄ごんぺいの刀もつくっていました。筑前左文字のまつえいと称して「左行秀」と言います。

現代に続くかじ屋の伝統

示野さんにインタビュー

天然砥石という石は固体が何億も集まっています。曲がっているカンナはすみの方を削るカンナです。カンナ屋は日本で6軒で、四国では1軒しかありません。その1軒は示野さんの所だそうです。カンナは削る所や削る形によって全部ちがっています。力が入る瞬間とは息を大きくすいこんだ後の吐き始めの一瞬の間のことです。



インタビューでとった写真



この店は、第二次世界大戦の後すぐ始めた店です。



このカンナは、小さいカンナです。



このカンナは、木の部分をはずしたカンナです。



このカンナは、新品のカンナです。